

**日産婦学会埼玉地方部会**  
**第66回** **平成16年度後期学術集会プログラム**  
**埼玉県産婦人科医会**

埼玉県産婦人科医会  
<http://ssi.umin.jp/>

§ 日 時 平成16年11月20日(土)午後2時開会

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール  
さいたま市浦和区仲町3-5-1 048-824-4801

司 会 学術企画委員長 山 本 勉

1. 開 会 学術企画委員長 山 本 勉

2. 一般演題 婦人科 (14:02~15:06)

座 長 斎 藤 麻 紀  
(さいたま赤十字病院)

1) 子宮摘出術後化学療法中に膣断端から小腸脱をきたした2例

さいたま赤十字病院産婦人科

久保祐子、斎藤麻紀、宮本純孝、中村 学、富田初男、安藤昭彦

2) 腹腔鏡下手術を施行した性分化異常症の4例

埼玉医科大学総合医療センター産婦人科

伊東宗毅、林 直樹、小野義久、松永茂剛、高井 泰、斉藤正博、竹田 省

3) 慢性骨盤痛の2症例

埼玉医科大学病院産婦人科

羽生真由子、山下真紀子、西林 学、大沢洋之、三木明德、岡垣竜吾、  
小川博和、藤村正樹、小林浩一、石原 理

4) 卵巣腫瘍内出血により貧血を呈した卵巣腫瘍の2例

埼玉県厚生連熊谷総合病院産婦人科<sup>1)</sup>、埼玉医科大学産婦人科<sup>2)</sup>

佐久間 洋<sup>1)</sup>、高橋 通<sup>1)</sup>、高橋幸子<sup>2)</sup>、永田一郎<sup>2)</sup>

5) 婦人科領域における肺血栓塞栓症 (PTE) の実態とその予防管理に関する検討

埼玉医科大学総合医療センター産婦人科

保母るつ子、新田律子、長井智則、村山敬彦、大久保貴司、竹田 省

6) 子宮内膜症性嚢胞に卵巣膿瘍を合併した一症例

獨協医科大学越谷病院産科婦人科

杉山紀子、濱田佳伸、堀中奈奈、安藤昌守、友部勝実、矢追正幸、堀中俊孝、  
榎本英夫、林 雅敏、大藏健義

7) 子宮内膜症・月経困難症に対する抗ロイコトリエン受容体拮抗剤の有用性の検討

自治医科大学附属大宮医療センター婦人科<sup>1)</sup>、自治医科大学産婦人科<sup>2)</sup>

根津幸穂<sup>1)</sup>、藤原寛行<sup>2)</sup>、小田切幸平<sup>2)</sup>、永井 崇<sup>1)</sup>、高見沢 聡<sup>1)</sup>、  
今野 良<sup>1)</sup>

8) 帝切後瘢痕部に発生した異所性子宮内膜症の2例

永井クリニック

堤 清明、永井 泰、渡辺恒治、永井 敦、足立 匡、加藤季子、  
関根さおり、津越智子、青山亮介

婦人科 (15:07 ~ 15:55)

座 長 金 田 佳 史  
(埼玉社会保険病院)

9) 若年性顆粒膜細胞腫の1例

防衛医科大学校病院産科婦人科<sup>1)</sup>、同分娩部<sup>2)</sup>

福井詩子<sup>1)</sup>、笹 秀典<sup>2)</sup>、高野政志<sup>1)</sup>、工藤一弥<sup>1)</sup>、喜多恒和<sup>1)</sup>、古谷健一<sup>1)</sup>、  
菊池義公<sup>1)</sup>

10) 神経膠播種を伴った未熟奇形腫の2例

小川赤十字病院産婦人科<sup>1)</sup>、埼玉医科大学産婦人科<sup>2)</sup>、小川赤十字病院精神科<sup>3)</sup>、  
小川赤十字病院病理<sup>4)</sup>

松本譲二<sup>1)</sup>、木村正博<sup>2)</sup>、伊藤百合子<sup>2)</sup>、永田一郎<sup>2)</sup>、畑 俊夫<sup>2)</sup>、  
石原 理<sup>2)</sup>、竹林正浩<sup>3)</sup>、前川 傑<sup>4)</sup>

11) Krukenberg 腫瘍で発見された虫垂原発カルチノイドの一例

国立病院機構埼玉病院産婦人科<sup>1)</sup>、埼玉医科大学病理<sup>2)</sup>

仲村 勝<sup>1)</sup>、小宮山慎一<sup>1)</sup>、堀場裕子<sup>1)</sup>、石川光也<sup>1)</sup>、倉橋 崇<sup>1)</sup>、  
田中京子<sup>1)</sup>、広瀬隆則<sup>2)</sup>、三上幹男<sup>1)</sup>

12) 不明熱で発症し骨髄穿刺で診断された卵巣癌骨転移の1例

国立病院機構埼玉病院産婦人科<sup>1)</sup>、埼玉医科大学病理<sup>2)</sup>

堀場裕子<sup>1)</sup>、仲村 勝<sup>1)</sup>、倉橋 崇<sup>1)</sup>、田中京子<sup>1)</sup>、小宮山慎一<sup>1)</sup>、  
広瀬隆則<sup>2)</sup>、三上幹男<sup>1)</sup>

13) 再発卵巣癌及び進行子宮頸癌に対する塩酸イリノテカン(CPT-11)とネダプラチン(254S)併用療法に関する検討

自治医科大学附属大宮医療センター婦人科

永井 崇、小田切幸平、根津幸穂、高見澤 聡、今野 良

14) 当院14年間(1985～1998年)における子宮頸部癌の統計学的検討(第1報):

臨床進行期0期とⅠ期

埼玉社会保険病院産婦人科

西尾 浩、金田佳史、田島博人、柳本茂久、豊島 究、伊藤仁彦、北井啓勝

【コーヒープレイク】(15:55～16:00)

3. 一般演題 産 科 (16:00～16:40)

座 長 笹 森 幸 文  
(瀬 戸 病 院)

15) 体外受精にて出産後、3年3ヶ月間の余剰胚盤胞凍結期間を経て第2子を得た症例

永井クリニック

門馬良恵、大月純子、高橋景子、宮倉幸恵、永井 泰

16) パルボウイルスB19胎内感染症: 2症例の比較

防衛医科大学校病院産婦人科

早田英二郎、松田秀雄、坂口健一郎、高橋宏典、芝崎智子、川上裕一、  
古谷健一、菊池義公

17) 妊娠24週未満に前期破水した症例の検討

さいたま市立病院産婦人科

西川明花、谷垣伸治、杉浦育子、何川宇啓、池田俊之、矢久保和美、  
福井谷達郎

18) 双胎間輸血症候群の2例

埼玉医科大学病院産婦人科

佐藤英貴、伊藤百合子、加村和雄、木村正博、大沢洋之、三木明德、  
岡垣竜吾、小川博和、藤村正樹、小林浩一、石原 理

19) 切迫早産の治療のための塩酸リトドリン使用により顆粒球減少症が生じ、  
G-CSF 投与により回復した一症例

埼玉協同病院産婦人科

伊藤浄樹、小林哲也、芳賀厚子、市川清美、神谷 稔

産 科 (16:41~17:29)

座 長 大 澤 洋 之

(埼玉医科大学病院)

20) 生体肝移植後の妊娠分娩の1例

深谷赤十字病院産婦人科

松本智恵子、高橋幸男、山下恵一

21) 子癇発作にて緊急帝王切開後、再発作を起こした1症例

深谷赤十字病院産婦人科<sup>1)</sup>、同麻酔科<sup>2)</sup>、同脳神経外科<sup>3)</sup>、同眼科<sup>4)</sup>、  
同小児科<sup>5)</sup>

松本智恵子<sup>1)</sup>、高橋幸男<sup>1)</sup>、山下恵一<sup>1)</sup>、増茂 仁<sup>2)</sup>、和田裕千代<sup>3)</sup>、  
萩原直也<sup>4)</sup>、平沢邦夫<sup>5)</sup>

22) 分娩後出血のため子宮摘出となった4症例

越谷市立病院産婦人科

村岡友美子、阿部弥生、大渡理恵、三和紀子、西岡暢子、小堀裕之、  
阿部礼子、長沢 敢、山本 勉

23) 腹腔内妊娠の一例

瀬戸病院

木川典子、田口彰則、上原奈美子、笹森幸文、瀬戸 裕

24) 妊娠初期に左総腸骨静脈血栓症を発症し、分娩前に一時的な大静脈フィルターを挿入して経膈分娩に成功した一症例

獨協医科大学越谷病院産科婦人科

濱田佳伸、堀中奈奈、杉山紀子、安藤昌守、友部勝実、矢追正幸、堀中俊孝、  
榎本英夫、林 雅敏、大藏健義

25) 子宮筋腫合併妊娠による帝切 2 か月後に D I C を発症した 1 例

さいたま市立病院産婦人科周産期母子医療センター

杉浦育子、池田俊之、西川明花、何川宇啓、谷垣伸治、矢久保和美、  
福井谷達郎

4 . 挨拶 ( 17:30 ~ 17:35 )

埼玉県産婦人科医会会長 柏 崎 研

5 . 社保説明 ( 17:36 ~ 17:46 )

埼玉県産婦人科医会理事 北 井 啓 勝

6 . 特別講演 ( 17:47 ~ 18:47 )

「国際的普遍性を目指した“妊娠中毒症”(妊娠高血圧症候群)の  
新しい名称・定義・分類」

日本妊娠高血圧学会理事長 佐 藤 和 雄 先生

座 長 柏 崎 研  
( 埼玉県産婦人科医会会長 )

7 . 閉 会

日本産科婦人科学会埼玉地方部会長 菊 池 義 公

一般演題の講演時間は **1 題につき発表 6 分、討論 2 分** です ( 時間厳守のこと ) 。  
使用機材はスライド又はパソコン ( OS:WindowsXP Application:PowerPoint )  
です。

一般演題のスライドは 1 題につき 1 0 枚以内 ( 1 面映写 ) をお願いいたします。

一般演者の方は発表後に論文を作成して地方部会誌編集係にご提出下さい。

学術集会当日、日本産科婦人科学会研修受講 1 0 単位シール及び日産婦医  
会研修受講シールを発行いたします。

学会参加費 2 , 0 0 0 円を当日頂戴いたします。

来年度 ( 平成 1 7 年度 ) から、7 0 歳以上の者も専門医を更新する場合、シ  
ールの提出が義務付けられましたので、ぜひ学術集会にご参加ください。